



有明高专だより

第143号

2014.6



記念モニュメント



グラウンドの桜



入学式

校長だより	2
入学式・入寮式／新入留学生紹介／留学生歓迎会	3
新任教職員紹介	4・5
特集 有明高専生 活躍中	6・7
4年生研修旅行	8・9
新入生阿蘇オリエンテーション	10

目次

2年生研修旅行	11
新入生歓迎行事／防災避難訓練／授業参観・後援会総会	12
岱明寮だより	13
春季球技大会／卒業式・修了式	14
卒業生の進路／学生表彰	15
トピックス・編集後記	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

(数字:学年、但し、6・7は専攻科1・2年。M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科、但し、2年生は学年・組)

校長だより

福島 健郎

世界で活躍できる技術者を 目指そう



世界で活躍できる人材を育成することは、小学校から大学までを通して、我が国の教育界の最も重要な課題となっています。

本校の設置者である国立高等専門学校機構では、本年度から始まる第3期中期目標期間において全国の国立高専が目指すべき目標として、「自律的、協働的、創造的な姿勢でグローバルな視野を持って社会の諸課題に立ち向かう、科学的思考を身につけた実践的・創造的技術者を養成する」ことを掲げています。

先日の卒業式では、卒業生に対し「人口減少期に入った我が国が持続的に成長していくためには、成長著しいアジアを中心とした新興国の成長を取り込んでいくことが不可欠であり、グローバルに活躍できる人材が必要とされています。皆さんは嫌でもこれから世界を舞台に活躍することになるでしょう。皆さんには、企業が海外で新しい市場を開拓していく際にその先頭に立つという気概をもってほしいと思います。そして、世界の人々と協力し、切磋琢磨して、世界各国が抱えている諸課題の解決と諸国民の生活水準の向上のために、技術の力で貢献してください。」という話をしました。この春の入学式では、多くの大学の学長から新入生がグローバル人材に育って欲しいという期待が表明されたということが報道されており、実際に殆どの大学で国際交流の充実に取り組んでいます。高専でも負けてはいられません。

そこで、既に全校集会でお話しましたが、九州沖縄地区の9高専が連携して、学生の国際交流の充実強化に取り組んでいます。その一環として、今年2月に、インドネシアのガジャマダ大学、マレーシアのペ

トロナス工科大学、タイのカセサート大学及びキングモンクット工科大学北バンコク校と学術交流覚書を締結しました。更に今年中に、ベトナムのハノイ大学、中国の厦門理工学院及びモンゴルのモンゴル科学技術大学と覚書を締結する予定です。アジアの大学と交流を進める理由は、これからはアジアの時代と言われており、高専の卒業生もアジア諸国で活躍することが期待されているからです。これらの覚書締結により、締結校との間で学生の双方向での交流が活発化することが予想され、学生の皆さんには、締結校への学生派遣の公募に積極的に手を挙げて欲しいと思います。加えて本校では、50周年記念事業で頂戴した寄付金を原資として、グローバル人材育成・学生支援基金を設立し、学生の国際交流の一部を支援することとしています。

また、海外で活躍するためには、英語力の向上を図ることが重要です。そのため、4年生を対象として、パソコンによる英会話の自学自習教材を利用できるようにしました。この教材はTOEIC対策にも有効であり、4年生にはTOEICの点数100点アップを目指してしっかりと取り組んで欲しいと思っています。



校訓碑(創立50周年記念事業で校訓を制定)

入学式・入寮式

4月8日(火)

4月8日(火)、第一体育館において平成26年度入学式が挙行されました。本科には205名の新1年生、8名の4年次編入学生、2名の3年次編入留学生の計215名、専攻科には29名が入学しました。入学生を代表してA科の江島早英さん、応用物質工学専攻の平山茜さんが宣誓を行いました。

また、午後からは入寮式が行われ、76名の新入生が入寮しました。



入学式



専攻科生宣誓



新入生代表誓詞



入寮式

新入留学生紹介

3M エリダ(シティ エリダ ビンティ チェ スハイミ)

マレーシアから来たエリダと申します。機械工学科の3年生です。部活は弓道部に入ってます。自分の国について少し紹介します。マレーシアの領土は東南アジアのマレー半島南部とボルネオ島北部です。天候は雨季と乾季しかありません。次に、マレーシアの人口は現在で約2,980万人に過ぎません。マレーシアは多民族国家です。また、民族によって文化と宗教など違います。みんな互いに尊敬するのでマレーシアは平和な国になっています。留学生としてたくさん経験をさせていただけでなく、日本語で勉強がどんなに大変でも、しっかりとがんばりたいと思います。これから、よろしくお願いいたします。



3A ピセット(ソク ピセット)

私はカンボジアから来たピセットです。今、有明高専の建築学科の3年生です。カンボジアについて紹介したいと思います。カンボジアは小さい国で東南アジアに位置しています。面積は約181,035平方km(日本の約半分)で人口は1,500万人(日本の約1/8)です。カンボジアでは季節が2つあります。雨季と乾季です。様々な民族がいます。カンボジア人(クメール人)がほぼ9割を占めます。それで、国の言語はクメール語です。カンボジア人は敬語をよく話せます。主な宗教は仏教です。有明高専に留学していますが、勉強や日本語などがまだよく分かりませんので、できれば、たくさん友達を作りたいと思っています。これからよろしくお願いします。



留学生歓迎会

4月24日(木) 国際交流委員 E科 河野 晋

平成26年度留学生歓迎会が、4月24日(木)の放課後に修己館で開かれました。今年度は外国人留学生として、機械工学科3年にマレーシアからエリダさん、建築学科3年にカンボジアからピセット君が入学しました。歓迎会には、同級生をはじめたくさんの学生、在留留学生、担任の先生やそのほか教職員が参加しました。はじめに福島校長から2人に対する歓迎のあいさつがあり、その後、エリダさんとピセット君から自己紹介と母国の紹介がありました。両名とも上手な日本語で、それぞれの国の地理や料理、文化などについてプロジェクターを使って紹介してくれました。吹奏楽部の演奏、吉田学生主事による乾杯があり、歓談タイムでは大変盛り上がりしました。歓談の途中では学生会長5A堤君からの歓迎スピーチがあり、最後に氷室教務主事からのスピーチがあり、会は盛況のうちにお開きとなりました。

エリダさんとピセット君にはこれから3年間の学生生活を楽しく充実したものにしてほしいと思います。



有明高専新入留学生歓迎会

新任教職員 紹介



今年度、本校に着任された10名の教職員の方々に、次の4つの質問に答えていただきました。

- Q1** 本校に来る前は？ **Q2** 高専あるいは本校学生の印象は？
Q3 趣味は？ **Q4** 抱負を一言

阿嘉 奈月 一般教育科（英語） 助教

- A1** 沖縄県内で中学校の英語教師をしていました。
A2 学生一人一人が自立して物事を考え、授業に取り組んでいるように見えます。授業内での質問も多く、やはり、高専生は中学生と全く違うなと感じています。
A3 趣味は、ゆったりとした時間をカフェで過ごしながらか、読書を楽しむことです。旅行も趣味の一つですが、最近、温泉巡りを楽しんでいます。おすすめの温泉があれば教えてください。
A4 何か縁があり、有明高専で勤務することができているかと思います。教育者として、日頃から「学生の気持ちを第一に」をモットーに、授業実践や学生指導に取り組んでいます。また、学生があつての教員だと考えていますので、常日頃から学生の気持ちを考えて行動できる教員として、これからがんばっていききたいと思っています。



野口 欣照 一般教育科（保健体育） 助教

- A1** 東京都にある私立の中高一貫校で講師をしていました。保健の授業が多かったのですが、体育と野球も教えることができたので、充実していました。
A2 来させていただく前は静かな子が多いイメージでしたが、非常に元気で活発だな、という印象を持っています。
A3 趣味と言えるかは分かりませんが、いろいろ好きなことはあります。スポーツをするのも好きですし、漫画、小説、伝記に関わらず本も好きです。映画もよく見ます。馬も好きです。バイクでふらふらするのも好きです。最近はずかブレイクダンスにはまっています。
A4 教員は子供と接する時間が多いので、良くも悪くも影響が大きいと思います。なので、できればいい影響を与えられるようにしていきたいです。



福田 尚広 一般教育科（数学） 助教

- A1** 筑波大学大学院数理工学物質科学研究科に在籍し、数学を専攻していました。
A2 自然に囲まれた校舎で、勉強に集中できる良い環境が整っていると感じました。また、学生が元気よくあいさつをしてくれて気持ちが良いです。
A3 スポーツはするのも観るのも大好きです。最近、社会人バスケットボールチームに入りました。マラソンにも挑戦したいです。
A4 私自身も高専の卒業生なので、高専生だった頃の経験を有明高専での教育に活かしていけたらと思います。



浅井 浩文 事務部長

- A1** 大分大学で総務課長をしていました。
A2 ほとんどの学生があいさつをしてくれます。正門に「あいさつは してもされても いい気持ち」との標語が掲げてあります。そのとおりですね。
A3 若い頃は、草野球をしていましたが、最近、TVでホークス戦を観戦するくらいです。大分では、野球中継はほとんどなかったもので、大牟田に転居して、楽しみが増えました。
A4 高専勤務は初めてですが、福島校長はじめ皆様のご指導・ご支援のもと、微力ながら本校の発展に貢献したいと思いますので、よろしくお願いします。



佐々木 勝啓 学生課長

- A1** 北九州高専で、学生課長をしていました。
A2 高専は、大分高専、北九州高専と3校目です。あいさつはどの高専もよくしてくれるので、うれしく思います。また、天気の良い日は宿舎（下井手宿舎）から歩いて通勤しています。寮務係長も兼任しているので、今日も寮生が元気な姿で通学しているなと思いつつ一緒に歩いています。
A3 ここに来るまでは、趣味とは言えないかもしれませんが、仕事が終わってからスポーツジムで汗をかくのが楽しみでした。少し落ち着いたら汗をかきにジムに通いたいと思っています。
A4 微力ですが、少しでも有明高専のためになればいいかなと思いますのでよろしくお願いします。



新里 雄 総務課 調達管理係

- A1** 独立行政法人国立高等専門学校機構本部事務局管理課で出納関係の業務に従事しておりました。
A2 以前にも有明高専に勤務しており、平成25年7月に戻ってまいりました。3年9カ月ぶりだったのですが、キャンパスは以前と変わらず学生の活気に満ちあふれ、大変うれしく思いました。
A3 観劇、読書。最近、カフェ巡りも楽しみの一つです。
A4 教育のため、研究のため、ひいては学校全体のために、自分に何ができるのか、自分が何をしなければならないか、を模索しながら、力を尽くしていきたいと思っています。



宮崎 洋 学生課 学生支援係

- A1** 熊本大学財務調達ユニット物品調達担当に勤務し、主な業務として、大学病院で使用する物品（日用品から手術で使用する医療機器など）の購入・契約を行ってきました。
A2 校内は緑があふれ、学生の元気なあいさつが聞こえてきます。以前の職場とは活気が違い、とても清々しい気持ちになれます。
A3 最近の出来事です、テニスをやり始めました。
A4 2年9カ月の出向期間を経て有明高専に戻ってきました。学生課としての勤務は初めてですが、これまでの経験を活かし、微力ながら本校をよりよくするためにがんばりたいと考えておりますので、教職員の皆様方のご指導のほど、よろしくお願いします。



平田 裕次 教育研究技術支援センター

- A1** 長崎で一般企業に勤めていました。
A2 明るく気さくな方が多く実験を行うとき反応が良くて助かります。
A3 読書、組み立て式模型作り、ネットサーフィンです。
A4 学生にわかりやすい説明が出来るよう、早く仕事に慣れ、がんばりますのでよろしくお願いします。



城門 寿美子 電子情報工学科 事務補佐員

- A1** 専業主婦で育児に専念していました。
A2 緑が豊かな学校だと思いました。とても明るく元気のいい学生が多く、校内を歩いているとあいさつをもらえるので、気持ちがいいです。
A3 茶道と、スノーボードです。
A4 早く仕事を覚え、皆さんのお役に立てるようがんばりたいと思います。よろしくお願いします。



宮田 理恵 学生課 寮務係 寮母

- A1** 専業主婦をしていました。
A2 以前、高専祭でロボットや実験に取り組んでいる生き生きとした学生の姿が印象に残っています。今は、寮生からたくさん元気をもらっています。
A3 お菓子作り、スポーツ観戦。
A4 一人でも多くの寮生の名前と顔を覚え、少しでも役に立てるようがんばります。

特集 有明高専生 活躍中

部活動やコンクール、地域で活躍している本校学生に各活動について紹介していただきました。

「まちなかシリコンバレー」での活動

6I 大塩 悠貴

平成26年3月22日(土)、大牟田市銀座通商店街に「まちなかシリコンバレー」がオープンしました。大牟田市の補助金を活用して2階建ての空き店舗を改修し、1階は高専生と市民が交流できるサロンとして整備しました。2階にはIT企業の「株式会社ASKプロジェクト」が入居して商店街発のアプリ開発拠点を目標して活動しています。この取

り組みは、電子情報工学科石川洋平研究室の学生が中心に、佐賀大学や佐賀県のIT企業である木村情報技術株式会社と共同で約1年間アプリ開発や仕事の基礎力講座を実施してきた共同研究をベースにして、大牟田銀座通商店街振興組合とコラボレーションした事業です。

これからも様々なイベントやサロン運営を通して、商店街だけでなく大牟田市全体の活性化のためにがんばっていきます！



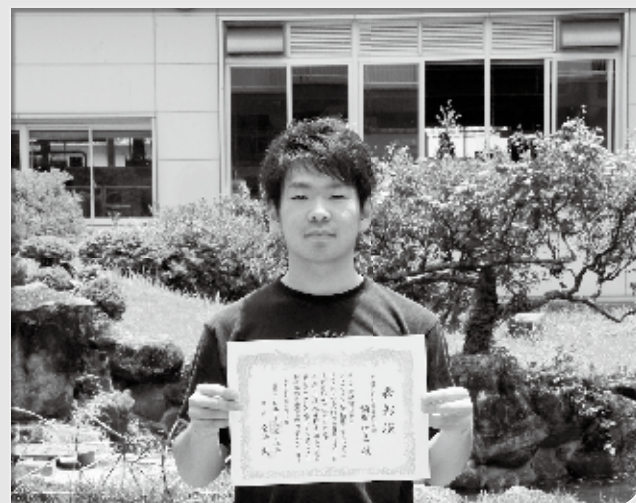
マグネシウムデザインコンテスト技術賞受賞

5M 楠田 哲巳

第23回学生マグネシウムデザインコンテスト製作部門に「エコランマシン前輪用ハブ・シャフト」を応募し、技術賞をいただきました。有明高専からの応募では、過去には第10回の「海陸運送用コンテナ」、最近では、第21回の「携帯端末用保護ケース」、第22回の「自転車用スプロケット」に続き3年連続、通算では4回目の受賞となります。

このコンテストでは、マグネシウムの特性がどのように活用できているか、独創性の有無、製品化の可能性等が

重要な審査基準となります。今回応募した作品は、自動車工学研究部にて製作している燃費競技用車両の前輪用のハブとシャフトです。これらの部品は、従来はアルミニウム材を使用していたが、今回マグネシウム材を使用することによって、より一層の軽量化と高剛性化、デザイン性の向上を実現することができました。製作したハブとシャフトは実際に競技用車輻部品として装着し、今年の燃費競技大会にも出場する予定です。



学生と地域の連携による 空き家調査と活用ワークショップ

5A 太田 裕喜 木下 慧次郎
西村 ムツミ 福田 しおり

私たちが所属している鎌田誠史研究室では、建築計画や住宅設計などの実践的な活動を行っています。2013年度は、福岡県大牟田市全域の空き家の実態について約3,000件すべてに足を運び調査してきました。春休みには九州大学、大牟田市と連携して空き家活用のためのワークショップを行うなど、学内に留まらず地域と協力して精力的に活動しています。

大牟田市では、推計データから、今後10年間で約4,000世帯が減少し、その結果、空き家化する戸建て住宅が大きな問題になると考えられています。そこで、このような背景のもと、大牟田市居住支援協議会から大牟田市全域の空

き家の実態調査の共同研究として、有明高専の学生が中心となって調査を行いました。この空き家調査を受けて、市内に住む住民から実際に空き家を活用してほしいと要望がありました。そこで、有明高専と九州大学の学生や先生、地域の人々と協力して、空き家活用のワークショップを行いました。高専や大学生、地域など立場や年代の違う方々が集まることで、ユニークな提案が生まれました。

今後の研究活動は、引き続き空き家活用ワークショップや、空き家再生の先行事例の調査をする予定です。また将来的には、空き家を学生と地域の人々とのルームシェアなどによって地域がつながる仕掛けを提案していきたいです。



福岡モーターアワードアジアンビート賞の受賞

6M 下村 模哉

自動車工学研究部は、平成26年1月24日(金)から27日(月)まで、マリンメッセ福岡で開催された福岡モーターショー2014の「九州学生製作車両展」に車両を出展してきました。この展示では、北部九州に工場を置くトヨタ自動車九州(株)、日産自動車九州(株)、ダイハツ九州(株)の技術役員によるヒアリング審査があり、その結果をもとに各校車両が表彰されます。

審査の結果、我が部の車両は「エコカー部門最優秀賞」を2012年に引き続き受賞することができました。また展示会ではインターネットにおける人気投票が行われ、こちら

でも我が部の車両が前回同様1位に輝き、「福岡モーターアワードアジアンビート賞」の栄冠を勝ち取りました。

今回の審査会に向けて私たちはミーティングを行い、車両の特長や日々の改善活動について要領よく説明できるように入念に準備しました。今回のダブル受賞はその努力が報われたようで大変うれしく思っています。部では今年度も「Hondaエコマイレージチャレンジ2014」の九州大会と全国大会への参加を予定しております。何としても他の大学や高専を抑えて本田宗一郎杯を勝ち取りたいです。皆様のご支援、ご声援を賜りますようお願いいたします。



研修から得た人生観 4M 古澤 直記

ANA機体メンテナンスセンター
花王(株)川崎工場
(株)牧野フライス製作所
日産自動車(株)横浜工場

今回、関東地区に3泊4日の研修旅行に行ってきました。初日は、ANA機体メンテナンスセンターでB787の整備現場を、2日目は、花王川崎工場で洗剤の袋詰めから倉庫への保管までの製造工程、また、牧野フライス製作所では、NC工作機械やマシンニングセンターの製造工程を見学させていただきました。最終日には、日産横浜工場で自動車のエンジンに使われるシリンダやピストンなどの製造、組み立て工程を見学させていただきました。

これらの一流企業を拝見させていただき、私たちは、大変感銘を受けました。今回の研修で学んだものは、いかに自我同一を確立するかにあると考えました。他の誰かになりたがることは、自分らしさの喪失につながると思います。いろいろとお話を聞いて、「やらない謙虚より、やる純情」ということが印象的でした。これからは、このような意識を持ちながら、これから始まる私たちの就職活動が充実したものになるように、取り組んでいきたいと思っています。



4年生 研修旅行 5月13日(火)～16日(金)



研修旅行を終えて思うこと 4E 寺嶋 航貴

東京ガス(株)袖ヶ浦工場
日本モレックス(株)
(株)東芝浜川崎工場
NHK放送センター

研修旅行では、学校では学べない貴重な体験ができるということもあり、皆楽しみにしていました。1日目は東京ガス(株)袖ヶ浦工場へ行き、LNGを用いた実験、工場内をバスで移動しながらの説明などでエネルギーの安定供給の仕組みについて学ぶことができました。2日目は日本モレックスと東芝浜川崎工場へ行きました。モレックスではコネクタの開発・製造の流れを説明していただき、高専出身の先輩からも貴重な話を聞かせていただきました。東芝では、変圧器や開閉器、避雷器に用いられる技術やその仕組みについて知ることができました。3日目は自主研修ということで、それぞれが東京の街を堪能することができたと思います。最終日はNHK放送センターへ行き、番組制作の裏側やスタジオパークの見学をさせていただきました。

どの企業の方も自分の仕事に誇りを持ってやっているところがすごいと感じました。また、お忙しい中、説明等をしていただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。この4日間は私たちにとって思い出に残る有意義なものになったと思います。この研修旅行で学んだことを活かして、これからの高専生活を過ごしていきたいと思っています。



汗と涙の研修旅行 4I 竹永 拓海

(株)テルム 入舟事業所
(株)東芝 東芝未来科学館
富士通(株)川崎工場、日本科学未来館
ANA機体メンテナンスセンター

私は、今回の3泊4日の研修旅行を通して様々な貴重な体験をすることができました。

まず1日目は、テルムに行き、リサイクル工場を見学しました。テルムではエアコンやブラウン管テレビの解体作業の様子を見ることができました。解体ではフロンガスがもれないような工夫をして、エコとの両立をされていました。また、手解体と粉碎によって高い回収率を保たれていて素晴らしいと思いました。2日目は東芝未来科学館、富士通、日本科学未来館を見学しました。科学館では、日本の科学の粋があらわれていて関心をもちました。富士通では、将来に役立つような新しい発想をもとにした素晴らしい開発に感心しました。3日目の自主研修では自らで計画し、行動することができました。4日目は、往復でお世話になったANAの整備工場を見学させていただき、飛行機への熱い情熱と配慮が理解できました。

真面目にきちんと研修に取り組んだかと聞かれると返事に困りますがこの研修旅行を楽しむことはできました。



シンガポール研修旅行 4C 西村 亘生

ウッドランドサニーフーズ社
ニューウォータービジターセンター
シンガポールポリテクニク校

私たち物質工学科の研修旅行先であるシンガポールは小さな国ですが、日本ではあまり見られないデザインのビルがそびえ立ち、多くの人で賑わう大都市で、思わず圧倒されました。

ウッドランドサニーフーズ社は、不二製油の海外拠点の一つで、油脂や大豆たんぱくなどを研究・製造し、主に企業に向けて販売していました。実は多くの企業の菓子製品に不二製油の製品が使われており、企業から企業に販売するという、自分が知らなかった企業の形を学ぶことができました。

ニューウォータービジターセンターでは、水を浄化する機構を学びました。シンガポールは国土が狭い上に山がないため飲み水の確保が難しく、雨水をリサイ

クルすることで対応しており、シンガポール国民を支える企業であると実感しました。

シンガポールポリテクニクの学生との交流もしました。日本文化に魅了されたポリテクの学生もいて驚きました。言いたいことが英語でうまく伝わらないこともありましたが、食事や観光で同じ時間を共有することができ、研修を終えた今でも連絡を取り合っています。

あっという間の5日間でしたが、これほど有意義な時間を過ごすことは、これからも滅多にないと思います。この日の出来事は、写真よりも鮮明に深く心に刻み込まれ、一生忘れることのない思い出になりました。



百聞は一見にしかず 4A 兵藤 安季紗

海遊館、大阪国際平和センター、
法隆寺、唐招提寺、東大寺、神戸
異人館、人と防災未来センター、
等

私たち建築学科は、主に大阪、奈良、京都、神戸を見学しました。奈良、京都の古建築では、現代建築とは異なる壮大なスケール感や繊細な美、長い年月を経た重みを肌で感じました。大阪の現代建築では、建物の用途にあわせた合理性や現代ならではの形状に触れ、神戸異人館では日本の住宅との明確な差、例えば内部空間の細部の装飾の違いなどを発見しました。

やはり教科書や雑誌等で見て、先生方からのお話を聞いて得た情報だけでは理解が足りず、実際にその場に赴き自分の目に映すことでようやく、情報を知識として自分の中に取り込むことができました。中学校の修学旅行で訪れたことがある場所でも当時とは全く異なる景色で、知らないことがこんなに勿体ないことだと初めて気づきました。

私は今回の研修旅行で、知れば知るほど溢れる疑問や感動を得ました。この4日間の有意義な経験をこれからの学習に結び付けていき、もっと先へ繋がられるようがんばりたいです。



新入生阿蘇オリエンテーション

5月15日(木)～17日(土)



阿蘇研修を終えて

E科 片桐 南海子

この研修には三つの目的がありましたが、私は自分なりに達成できたと思います。

一つ目の目的は、集団生活のマナーを覚えることです。3日間の生活の中で、集団生活のマナーを改めて学び身に付けることができたと思います。

二つ目の目的は、学校生活のルールを勉強することです。先生方の講話を聞いたり、指導学生の方々に指導を受けたりして、有明高専について多く学ぶことができました。

三つ目の目的は、級友との友情を深め、クラスの連帯意識を強めることです。2日目のオリエンティングでは、班の全員で協力し合い、阿蘇の大自然を肌で感じながら一位を目指して頑張りました。とても楽しい時間でした。がんばった甲斐あって、女子で一位になれたので嬉しかったです。また、夜のホームルームでは、改めてクラスメイトのことをよく知ることができました。女子の数が少ない電気工学科ですが、うまくやっていけそうです。

今回の研修では、大変なこともありましたが、とても充実したものになったと思います。これからの高専生活も、楽しく満足できるものになるようにがんばります。



新入生オリエンテーションの感想 A科 宮田 紳太郎

今回の新入生オリエンテーションで一番印象に残っていることは、先生方の講話です。1日目は校長先生の講話がありました。校長先生は高専という教育機関について、これから必要とされる技術者とはどのような者か、そうなるためにこの有明高専でできること、などを教えてくださいました。2日目は学生主事の吉田先生がこの阿蘇研修の目的や、これからの高専生活の心がけについて教えてくださいました。その講話の中で、「人格は性格を凌駕する」という言葉が心に残っています。「人格は教養や知識が育て、人格が素晴らしければ、多少性格が悪くても他者に有無を言わせることはできない。それくらい大切なものである。」という主旨のお話は、今まで十六年間生きてきて、初めて聞いた言葉でした。3日目は二人の先生がお話をしてくださいました。教務主事の氷室先生は、東日本大震災や九州北部豪雨などの自然災害を受けて、高専が目指すべき技術者などをお話してくださいました。また、進路支援室長の塚本先生は、過去の有明高専卒業生の進学先や進路先について、進路支援室とはどのようなことをする場所なのかというお話をしてくださいました。その講話の中で、「人生は四十歳になってから見える」という言葉が出てきました。僕は今、慣れない生活の中で不安もたくさんありましたが、少し薄れた気がしました。

今回の先生方の講話を聞いて学んだことをこれからの高専生活に生かしていけるように日々邁進していきたいと思っています。



2年生研修旅行

1組 5/13(火)



2組 5/20(火)



3組 4/25(金)



4組 4/30(水)



5組 5/14(水)



九州国立博物館について

- 博物館全体が一つの作品のように思えた。建物の外観・設備・展示場にいたるまで、すべてに意味があり、すべてをフル活用しているところにすこさを感じた。また、人のすこさを感じた。私たちに説明をくださった方は、「資料持参」「カンペなし」「丁寧な説明」。これをボランティアでやっているときいたときは、驚きと尊敬のどちらの気持ちも感じた。
- 博物館の大きさにまず驚いた。それに曲面の屋根、ガラスばりの壁、山の地形を利用した土地づくりに、どれも圧倒された。初めての博物館で、銅鐸や資料などがたくさんあっておもしろかった。
- 普段は入れないところに入ることができて、文化財の保存の仕方など細かいところまで教えてもらい、とてもためになった。また、文化財の修復作業は気が遠くなるほどの大変な作業であることがわかった。
- 何層もの空気の層を作り、収蔵庫の温度を保っているという仕組みがすばらしいと思った。また、床冷房で床を冷やして2mの位置までの温度を調整しているところが、無駄がなくて良いと思った。床は温度が変わりにくい石材だったので、適した材料が使われていた。それから、建物は免震の仕組みによって横揺れ・縦揺れに対応できるようになっており、これによって収蔵庫を守っていた。

九州国立博物館(常設展)について

- 古代のお金や絵などガラス1枚を隔てて見る世界はとても新鮮で、身近に思えました。また、街の様子や貴族の生活などを描いた絵では、人が身に着けている品一つひとつまで細かく描いてあったのがすごいと思いました。一方で、このような品物を今まで維持させている博物館の人々の仕事はすごいと思いました。高専は主にエンジニアのための学校だけど、こういった伝統を受け継いでいく技術も忘れてはならないと思いました。
- はるか昔の品なのに、できる限り復元されていた。剣などはとても錆びついていたが、鏡などの中にはとてもきれいなものもあって、日本の技術の高さに驚いた。

班別見学

太宰府天満宮宝物殿：太宰府天満宮の宝物殿には、菅原道真公にまつわる宝物を中心に、黒田家に関する宝など太宰府とかかわりの深いものが多く展示されている。中でも、特に私が興味を持ったものは「五言絶句双幅」である。これは、菅原道真公が太宰府に左遷された後、都をしのぶ心情を鳥に託したもので、鳥点の筆法(部首などが鳥の形をしている)で書かれたものである。私は、この展示物から、菅原道真公が悩んだり苦しんだりした一人の人間として見てくると思う。

光明禅寺：光明禅寺の庭には枯山水があり、とてもきれいに管理されていました。広くはありませんでしたが、小さい中にもゆったりとしたその光景は、情緒にあふれていました。

スターバックス：隈研吾さんが設計したスターバックスに行きました。外観の印象から内装、そして雰囲気に至るまで、すごく細かいところまで設計されているなどという感想を持ちました。店内の雰囲気はとても落ち着きがあり、くつろげる空間が広がっていました。照明や時計にまで設計者のこだわりをみることでできる建築物でした。

麒麟とうその像：麒麟とうその像は手水舎の手前に立っていました。見た目は馬、しかし、首からは神社の狛犬のようで、僕のイメージしていたのとは随分違っていました。何度か天満宮には行ってはいるのですが、いつも本殿に直行するため、こんな奇妙な像には気づきませんでした。

研修旅行全体の感想

- この研修旅行で心に残ったことは、九州国立博物館で教えてもらった「IPM」という言葉です。IPMとは害虫が発生しない環境にし、管理することです。何か起こる前に行動し、アクシデントを未然に防ぐという考え方は、これからの生活でも活かしていけると思いました。私たちのクラスはあいにくの雨だったけど、友達の輪を広げ、絆が深まった1日になったと思います。
- 太宰府天満宮のすぐそばに九州国立博物館があったので驚いた。昔の技術で建てられた天満宮のすぐ近くに最新の技術で建てられた博物館があるのにも関わらず、まったく景観を破壊していなかった。それぞれを最大限に楽しむことができた。
- 研修旅行はあいにくの雨だったが、充実した内容だった。博物館では展示品がどのように守られているか、どのように修復されているか知ることができた。班別行動は、さまざまな名所をまわり、現地の食べ物を堪能できた。他学科の学生との交流が深められた研修でもあった。

新入生歓迎行事

4月18日(金) 学生会長 5A 堤 大智

今年も有明高専の恒例行事である新入生歓迎行事が4月18日(金)に開催されました。学生は各学科に分かれ、新入生が在校生の前で元気な声での自己紹介と、それぞれが考えてきた個性的な余興を披露しました。新入生にとっては本校に入学して初めてのビッグイベントだったため、これまでにない緊張だったかもしれませんが、学校や各学科の雰囲気を肌で感じることでできた素晴らしい機会になったのではないのでしょうか。私自身、新入生の初々しい姿を見ながら1年生だった頃を思い出し、改めて過ごしてきた時間を振り返るととても良い機会となりました。

新入生の皆さん、もう学校生活には慣れましたか?これからの学校生活を楽しむためには、先生方や先輩、そして多くの仲間たちの存在が大切です。積極的に周りコミュニケーションをとり、それぞれが楽しい学校生活を送ってください。

今年は11月1日(土)、2日(日)に2年に1度の高専祭が開催されます。各学科の個性をいかした楽しい催しで、たくさんの方々に喜びと感動を与えられるよう学生一丸となってがんばり、有明高専らしい盛大な高専祭を創り上げましょう。



I科



C科



A科



M科



E科

防災避難訓練

4月22日(火)

平成26年4月22日(火)、防災避難訓練が実施されました。地震の後に機械工学科棟から火災が発生したという想定で訓練は行われました。

グラウンドに全学生、教職員が避難した後、大牟田消防署の署員の方から消火器の取り扱いの説明を受け、各学科に分かれて実際に消火器を使用して訓練を行いました。



授業参観・後援会総会

5月2日(金)

5月2日(金)午後から授業参観(5・6限)、後援会総会(7限)、クラス懇談会(8限)が行われました。360名

を超える保護者の方に御来校いただきました。ありがとうございました。



授業参観



後援会総会

岱明寮だより

寮務主事補 竹内 伯夫

寮生指導者研修会

4月6日(日)、銀杏棟研修室において寮生指導者研修会を実施しました。寮生会役員38名および岱明寮関係教職員10名が参加し、寮生遵守事項の確認や寮の運営方針等について意見交換を行いました。

今年度の重点目標

3 J
時間を守る
自習学習
自立

寮長の5M末永君より今年度のスローガン「3 J」時間を守る・自習学習・自立が発表されました。

入寮式・入寮オリエンテーション

4月8日(火)、第一体育館において入寮式および入寮オリエンテーションを開催しました。1年生71名、4年次編入生3名、留学生2名の合計76名の入寮許可後、福島校長および石丸寮務主事よりあいさつがありました。入寮オリエンテーションでは、寮生活に関する説明、寮生会役員の紹介等がありました。



寮生会役員紹介

岱明寮防災避難訓練

4月15日(火)、荒尾消防署および大牟田防災工業(株)のご協力を得て、全寮生を対象に防災避難訓練を実施し、避難経路の確認、消火器操作訓練、避難梯子の操作確認などを行いました。



消火器操作訓練



避難経路の確認

新入寮生歓迎夕食会

4月17日(木)、岱明寮食堂において新入寮生歓迎夕食会が行われました。新しい試みとして新入寮生の自己紹介の合間に先輩たちが余興を披露し、大変盛り上がりました。



寮長による挨拶



1年生による自己紹介

春季球技大会

5月27日(火)

3M 西嶋 涼平

5月27日(火)に平成26年度春季球技大会を実施しました。昨年の球技大会は二回とも雨でしたが、今回は気持ちのいい青空の中、晴天時競技のソフトボール、バレーボール、女子バレーボール、ソフトテニス、卓球を行いました。

高学年は1か月以上前から練習に励んでおり、その練習の成果が十分に発揮され、白熱した球技大会になりました。しかし、五年生が必ず勝ちあがるというわけでもなく、波乱の展開が各競技で繰り広げられました。また、一年生をはじめとした低学年もクラスの団結力が強まったのではないかと感じられました。

今回、結果が残せなかったクラスは、冬季球技大会に向けて頑張ってほしいと思います。

晴天時競技

最優秀クラス	5 M
優秀クラス	5 E

競技	優勝チーム	MVP
卓球	2-3	光延 聖太
女子バレーボール	4 C	江島 見佳
男子バレーボール	5 M	宮崎 勝三
ソフトテニス	4 E	大塚 絢貴
ソフトボール	5 E	山口 貴士



卒業式・修了式

3月14日(金)



3月14日(金)、平成25年度卒業式および専攻科修了式が行われました。M科37名、E科35名、I科31名、C科38名、A科35名が卒業、生産情報システム工学専攻20名、応用物質工学専攻7名、建築学専攻5名が修了しました。卒業生・修了生の皆さんのこれからのご活躍を祈念いたします。



卒業生・修了生の進路

機械工学科

アマゾンジャパン(株) 九州電力(株) 第一精工(株)福岡事業所 トヨタ自動車(株) 日本たばこ産業(株)九州工場 (株)明治九州工場 雪印メグミルク(株) 有明高専専攻科	NSプラント設計(株) 山九(株) 大電(株) 西日本旅客鉄道(株) (株)マツダE&T 名伸電機(株) ユニタック(株) 豊橋技術科学大学	関西電力(株) ジャパンマリンユナイテッド(株) 東海旅客鉄道(株) 日清紡プレーキ(株) 三菱電機ビルテクノサービス(株) (株)ヤマナカゴーキン (株)LIXIL有明工場 熊本大学	キヤノン(株) 西部電機(株) (株)東洋新薬 日本オーチス・エレベータ(株) 室町ケミカル(株) ヤンマー建機(株) 岡山大学
---	---	---	--

電気工学科

旭化成(株) 関西電力(株) (株)シマノ 中国電力(株) 東芝メディカルシステムズ(株) 日本海洋掘削(株) 矢崎総業(株) 有明高専専攻科	(株)アドバンテスト 九州電力(株) セイコーエプソン(株) 中部電力(株) 東洋水産(株) 日本電子(株) 豊橋技術科学大学	NECネットエスアイ・エンジニアリング(株) サカタインクス(株) 西部電機(株) 東京瓦斯(株) 東燃ゼネラル石油(株) (株)マルハニチロホールディングス 大島商船高専専攻科	オムロンフィールドエンジニアリング九州(株) (株)サン電工社 ダイキン工業(株) (株)東芝 トヨタ自動車(株) 村田機械(株) 佐賀大学
--	---	---	--

電子情報工学科

NTTコムソリューション&エンジニアリング(株) 光陽無線(株) 日本オーチス・エレベータ(株) (株)上野システムエンジニアリング(株) リンク情報システム(株) 有明高専専攻科 福岡大学	(株)NTTドコモ (株)シーテック (株)日本コンピュータ開発 (株)フリーダム 豊橋技術科学大学	(株)NTTフィールドテクノ ダイキン工業(株) 日本たばこ産業(株) メディカル・エキスパート(株) 熊本大学	京セラ(株)川内工場 東海旅客鉄道(株) 富士ゼロックス福岡(株) ヤマハモーターエンジニアリング(株) 九州工業大学
---	--	--	---

物質工学科

(株)いなだ豆 協同乳業(株) (有)坂本石灰工業所 昭和電工(株) 田村(株) 日東電工(株) (株)明治九州工場 有明高専専攻科 九州工業大学	岩谷瓦斯(株) 京都シルク(株) (独)産業技術総合研究所 住友精化(株) (株)テックアイ (株)日本触媒 九州大学	花王(株) 熊本製粉(株) (株)シマノ 第一三共プロファーマ(株) (株)内藤商会 (株)パイロットコーポレーション 佐賀大学	関東化学ホールディングス(株) 古賀一之税理士行政書士事務所 昭栄化学工業(株) 田中貴金属工業(株) ナガセケムテックス(株) 三井化学(株) 熊本大学
---	---	--	---

建築学科

(株)朝日工業社 関西電力(株) 山九(株) (株)竹中工務店 福岡市役所 リボンガス(株) 有明高専専攻科 鹿児島大学	(株)NTTファシリティーズ九州 九鉄工業(株) 新日本空調(株) (株)TAK-QS (株)フジタ 豊橋技術科学大学 和歌山大学	(株)大林組 (株)鴻池組 wing(株) 西松建設(株) 防衛省 大分大学 神戸芸術工科大学	鹿島クレス(株) 三軌建設(株) ダイタン(株) パナソニックホームエンジニアリング(株) 三菱化学エンジニアリング(株) 熊本大学
---	---	---	---

専攻科

旭化成(株) JFEシビル(株) DIC(株) パナソニック環境エンジニアリング(株) ヤンマー造船(株) 九州大学大学院 筑波大学大学院	木村情報技術(株) セイコーエプソン(株) (株)東洋新薬 日立化成(株) 熊本大学大学院 東京工業大学大学院	佐賀県庁 (株)ソフトサービス 東洋電装(株) 富士通(株) 鹿児島大学大学院	沢井製薬(株) 中外製薬工業(株) (株)ニコン ヤンマー建機(株) 九州工業大学大学院
---	--	---	--

学生表彰

	成績優秀者	学会表彰者
機械工学科	吉岡 陸	木下 陽平 (日本機械学会畠山賞)
電気工学科	森田 翔大	宮原 巧 (電気学会九州支部長賞)
電子情報工学科	森 さくら	西村 珠美 (電子情報通信学会成績優秀賞)
物質工学科	松本 光	菊田めぐみ (日本化学会九州支部長賞)
建築学科	櫻木 卓矢	馬場 舞子 (日本建築学会九州支部長賞)



有明次世代科学クラブ

M科 坪根 弘明

JST主催の次世代科学者育成プログラムに継続採択されている有明高専では、大牟田市および荒尾市での環境に関する取組を相互に学習する場として、平成26年3月22日(土)に「子ども環境会議2014～身近な環境問題を子どもたちが考える～」を荒尾シティモールで開催しました。本校が実施する「有明次世代科学クラブ」の中学1・2年生14名も平成25年度の取組成果について発表を行いました。当日は、140名を超える多くの方々にご参加いただき、活発な質疑応答もなされました。3年目の活動も是非ご期待ください。

テーマ：海苔生産時の排水からの海苔の除去に関する取組(平成25年度)



実験装置の展示・説明の様子



有明次世代科学クラブの発表の様子

創立50周年記念 モニュメント除幕式

本校は平成25年に創立50周年を迎えました。その記念事業の一つとしてモニュメントが作製され、その除幕式が平成26年3月14日に行われました。モニュメントのデザイン原案は富重麻郁さん(平成25年3月A科卒)です。このモニュメントは、環境問題・エネルギー問題などの様々な課題に対して世界・地球を有明高専で育った学生・卒業生が高度な技術と専門知識でしっかりと支えていくことを表現しています。



図書館“知の集い処”オープン 図書情報係長 渡邊 真由美

平成26年5月より“知の集い処”がオープンしました。“知の集い処”は、学生が主体的にグループ学習ができる場所です。図書館閲覧室とは区切られた部屋で、友人やグループで相談しながら授業準備をしたり、広い机と自由に使える文房具を使って資料作成したり、備え付けのホワイトボードを使ってプレゼンや勉強会を企画したりと、使い方は全く自由です。学生・教員誰でも利用できます。是非ご利用ください。



シンガポール交流プログラム

国際交流委員長 G科 山口 英一

3月17日(月)から26日(水)まで、2年生から専攻科生の合計15名の学生がシンガポール・ポリテクニック(SP)を訪問しました。学内の宿舎に宿泊して連日SPの学生たちと朝から夕方まで過ごす経験は、ことばや文化の違いを身をもって感じると同時に、それらを越えて通じ合える同世代の友人たちを得る機会になりました。英語は不完全でも自分たちから積極的に話しかけようとする姿に、頼もしさとこのプログラムの意義を感じることができました。



編集後記

広報室 古瀬 英機

次第に蒸し暑さを感じる日が増え、季節が春から夏へと変化しています。阿蘇オリエンテーションや研修旅行、球技大会などの行事が行われ、はじめは緊張していた学校生活にも少し慣れてきた頃ではないでしょうか。

これから高専大会や定期試験、高専祭などたくさんの行事が待っています。一年間の学校生活は長いようで短いものです。一年を振り返ったときに悔いのないように、目標を立てそれに向かって全力で取り組んでいってください。一年後には成長できた自分を感じることができるはずです。

有明高専だより 第143号

平成26年6月30日

編集：有明高専広報室

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861 (学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>

花咲く技術を-Here are Lights-

